

[様式第13号]

[特例政令適用一般競争入札]

質 疑 応 答 書

工事名 平成24年度（仮称）仙台市荒井東復興公営住宅新築工事

質 問 事 項	整理番号	1 2 0 5 1 0 0 8 7
	回	答
(A-1 図) 特記仕様書の仮設工事項目に仮囲や足場の仕様、交通誘導員、重機等の記載がありますが、指定仮設なのでしょうか。		指定仮設になります。
(A-7 図) 共通仮設について図中に書込み及び参考数量（仮囲・鉄板等）の記載がありますが、指定仮設なのでしょうか。		指定仮設になります。
(A-01 図) 土工事発生土処理について構内指定場所堆積と構外に搬出の両方に○印がついています。埋戻に利用する残土のみ構内に堆積し、その他は構外に搬出するものとして宜しいでしょうか。		土工事において発生する残土については、構内に堆積し埋戻し及び敷き均しする土と構外に搬出する土があります。構内堆積分は埋戻し用と敷均し用に使用するので、掘削土の良質な土を確保すること。
(A-01 図) 堅樋について、SGPとVP両方に○印がありますが、VPとして宜しいでしょうか。		外階段中間踊り場に設置する堅樋はSGPになります。それ以外の堅樋はVPになります。
(A-04 図) フローリングの厚さが、t12とt15の両方に○印がありますが、他の図面に倣いt12として宜しいでしょうか。		宜しいです。
(1-05,15,27,28 図) 断熱材厚さについて、各図面間に相違があります。A-15 図を正として宜しいでしょうか。 ・屋根：硬質ウレタンフォーム t30 ・外壁：現場発泡ウレタン t30 ・土間下：押出法ポリスチレンフォーム t30		宜しいです。

[様式第 13号]

<p>(A-05 図) 日焼防止としてバルコニー・側壁等の開口部へ養生(紙製)カーテンを取付けることとありますが、養生紙テープ貼付程度として良いでしょうか。</p>	<p>養生カーテンとします。</p>
<p>(A-75~78 図) 今回見積において昇降機設備は別途として宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>(A-15 図) 外部仕上表において、外壁に複層塗材(塗分け)とあります。塗分け方法の具体的内容を教えてください。</p>	<p>塗り分けについては、5~10色程度を想定しています。</p>
<p>(A-27,28,S-6 図) 床下ピットの範囲が意匠図と構造図で相違しております。(意匠図では開放廊下及びバルコニー下部にもピットがあります。)構造図を正として宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>(A-52 図) 額縁は木製(塗装仕上)として宜しいでしょうか。</p>	<p>額縁は木製(桧単板貼集成材)とし、WUC(水性ウレタン木部用クリア塗り)とします。</p>
<p>(A-53 図) 下記の参考メーカー・仕様を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下面格子-A ・廊下面格子-G ・廊下面格子-H ・バルコニー・廊下手摺-A ・バルコニー・廊下手摺-B ・バルコニー・廊下手摺-C 	<p>全ての部材アルミ手摺りのBL認定品 60型 2段タイプ同等とします。</p>

[様式第13号]

<p>(A-55 図) 共用盤室の点検棚(2800*1100)は1か所として 宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>(A-06,56 図) 流し台について下記は別途設備工事として 宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・レンジフード・焼却器具・照明器具・水栓	<p>宜しいです。</p>
<p>(A-57 図) 階段室廻りスクリーン[°]ネルについて下記が不明で す。ご指示をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">・下地鉄骨の部材断面・スクリーン[°]ネル-A (日鐵ファイアフロア?)・スクリーン[°]ネル-B・上記参考メーカー・仕様・連絡先等	<p>別紙 (図A-57) のとおりです。</p>
<p>(A-57 図) 階段手摺-B (スチール垂鉛メッキ) の部材断面が不 明です。御指示願います。</p>	<p>別紙 (図A-57) のとおりです。</p>
<p>(A-61~74 図) 住戸内間仕切は FES 工法となっています が、在来軸組工法(木軸若しくは LGS 下地に 石膏ボード[°] t12.5 貼)でも可として宜しいで しょうか。</p>	<p>設計図面のとおりとします。</p>

[様式第13号]

<p>S-6 図 人通孔・連通管の箇所数が特記外記載数量と、伏図の数量とで下図のように相違しております。</p> <table border="1"> <tr> <td>南棟・西</td> <td>特記外</td> <td>伏図</td> </tr> <tr> <td>連通管 L400</td> <td>2箇所</td> <td>4箇所</td> </tr> <tr> <td>南棟・東</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人通孔 L650</td> <td>9箇所</td> <td>11箇所</td> </tr> <tr> <td>連通管 L400</td> <td>1箇所</td> <td>2箇所</td> </tr> <tr> <td>連通管 L650</td> <td>16箇所</td> <td>20箇所</td> </tr> </table> <p>伏図の数量が正と考えて宜しいでしょうか。</p>	南棟・西	特記外	伏図	連通管 L400	2箇所	4箇所	南棟・東			人通孔 L650	9箇所	11箇所	連通管 L400	1箇所	2箇所	連通管 L650	16箇所	20箇所	<p>宜しいです。</p>									
南棟・西	特記外	伏図																										
連通管 L400	2箇所	4箇所																										
南棟・東																												
人通孔 L650	9箇所	11箇所																										
連通管 L400	1箇所	2箇所																										
連通管 L650	16箇所	20箇所																										
<p>A-22・A-23 図 バルコニー手摺に特殊化粧型枠打放しの記載がありますが、柄等の仕様が不明です。 A-02 図のモールドスター・ティンプル柄同様と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>																											
<p>S-7～S-10 図 XB3-XB1 通間/YB6-YB9 通間のスラブ天端位置について、特記外  より SL-330 の部位がありますが住戸内のため SL-100 と思われれます。 住戸内  <SL-330> は  <SL-330> とすべて読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>																											
<p>S-6・S-25・S-26 図 配管ピット土間コンクリートの厚み・配筋容量が、スラブリストでは t150・D10@200 ダブルとなっておりますが、伏図・雑詳細図では t220・D13@200 ダブルと相違しております。 雑詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>																											
<p>A-01 図 梁貫通補強のか所数が記載されておりますが、南棟・西・南棟・東それぞれのか所数が不明です。 それぞれのか所数をご指示願います。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>西</th> <th>東</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">地中梁</td> <td>150</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>250</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">梁</td> <td>150</td> <td>579</td> <td>310</td> <td>889</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>480</td> <td>250</td> <td>730</td> </tr> </tbody> </table>		径	西	東	計	地中梁	150	29	35	64	200	4	4	8	250	0	2	2	梁	150	579	310	889	200	480	250	730
	径	西	東	計																								
地中梁	150	29	35	64																								
	200	4	4	8																								
	250	0	2	2																								
梁	150	579	310	889																								
	200	480	250	730																								

[様式第 13号]

<p>S-3 図 既製梁貫通補強のタイプが不明です。 スパーラー Z・ZC タイプ (2 枚組)同等と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>S-1 図 場所打ちコンクリート杭について、特記仕様書の備考欄に「日本建築センター認定 BCJ-F380(追 1.3)」の記載がありますが、同等工法であれば他社でも可能と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
<p>S-17 図 杭工事にて発生する残土処理について、「場内中間処理の上、埋め戻し又は敷き均しに利用する事」と記載がありますが、全て場内にて処理できるものと考えて宜しいでしょうか。 (残土数量 約 5,360m³)</p>	<p>地業工事において発生する残土については、中間処理の上、構内に堆積し埋戻し・敷き均しをする土と構外に搬出する土があります。</p>
<p>前項質疑にて杭残土総数量を場内にて埋め戻し又は敷き均しにて処理できない場合、場内敷均し可能数量、場外処理方法をご指示願います。</p>	<p>残土のうち発生する汚泥については中間処理をした上で、構内敷均し (約 1,507 m²)、場外搬出自由処分 (約 3,137 m²) を想定しています。</p>
<p>S-1,4 図 土質柱状図によると今回の敷地は砂質地盤となっており水位も高くなっていますので、孔壁の崩壊が危惧されます。アースドリル工法以外の工法 (既製摩擦杭等) について検討が必要かと思いますが如何でしょうか。</p>	<p>工法の変更については別途協議とします。</p>
<p> </p>	<p> </p>

注 1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合 (見積りに必要な事項に限る。) に提出してください。会社名を記入する必要はありません。